

## 先端技術が創る豊かな未来



取締役 専務  
溝口 哲也

21世紀の最初の1年を振り返ると、全世界的に社会情勢、経済情勢とも近年経験したことのないような混沌とした年でありました。その中でインターネットはますます普及し、コラボレーション、ネットワークにより、更に加速され高度に展開する方向がはっきりしました。それとともに、新しい技術の芽生えと実用化が本格化してきました。ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど、従来は基礎科学と考えられてきた分野で技術を加速する動きが起っています。今後の技術は、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど先端技術と、コンピュータ、通信技術、インターネットとそれを支える半導体技術など既存技術の融合を図り、個別技術の高度化を進める一方、ソフトウェア技術でより優れた働きを実現する方向に進むと思われれます。

ここ数年の技術動向は、デジタル、モバイル、ネットワーク(ブロードバンド、ワイヤレス)化が急速に進んでおりますが、当社もこの分野に大いに注力していきます。

このようななかで、2001年の技術成果のポイントは以下のとおりです。

まず、モバイル/ネットワーク分野では、製品として、世界最薄・最軽量のB5ノートパソコン、世界最小・最軽量PocketPC GENIO e550、及び動画対応CDMA方式携帯電話C500ITを発売しました。キーデバイスとしては普及が期待されているBluetooth™ベースバンドLSI、差し込むだけで使える世界初のSDIO規格のSDカードを開発しました。標準規格として、当社が中心となり、モバイル・インターネットの映像伝送プロトコルMPEG-4 RTPを共同提案し、標準化団体で規格化され、更に、次世代携帯電話の映像配信規格、パケット網音声・映像伝送規格にも採用されました。マルチメディアコンテンツ内容記述国際標準MPEG-7では、当社提案の2件が採用されました。ホームネットワーク/デジタル放送分野では、BSデジタルプラズマテレビP2500シリーズを発売しました。また、双方向性の特長を生かす、複数メディア向けサービスを開始しました。システムインテグレーション/サービス分野では、ナレッジマネジメント支援ソフトウェア、京阪神地区高速道路向けETC路側システム、スマートカー向け画像認識LSIを開発しました。

このほかに、エネルギー分野では、中部電力(株)碧南火力4号機が営業運転開始、マイクロ水力発電装置の国内初号機が運転開始しました。家電機器では省エネ・省時間ホームランドリー、光プラズマ鮮蔵庫を発売しました。環境/デバイス/材料技術では、ナノテクノロジーを用いた高密度立体配線技術の開発、低温ポリシリコン液晶での世界最大ノートパソコン用パネルの量産を開始しました。環境対応技術として、鉛フリーハンダ実装技術、ノンフロン冷蔵庫を開発しました。

以上、ますます高度化していく技術と社会を支える当社の技術成果の一端を紹介しましたが、具体的な内容は本文で一読いただきたいと思います。皆さまのご助言、ご指導をいただきたくお願い申し上げます。